

Life is Taketombo (人生は竹とんぼ)

日本と中東欧のICTをつなぐ 価値観の架け橋

株式会社チームタケトンボ 代表取締役社長
在日チェコ共和国商工会議所 監査役
中田 明

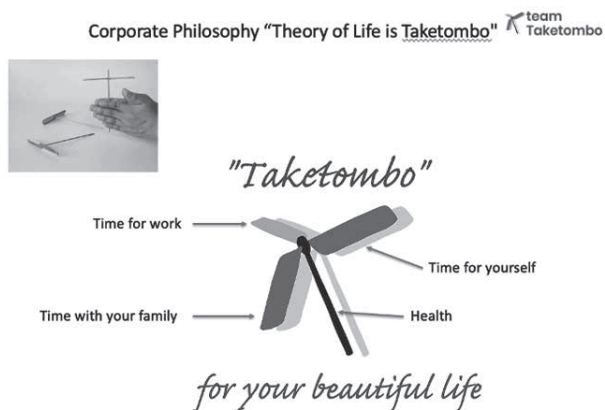


日本と中東欧をつなぐ「架け橋」としての挑戦は、1人の人生観の変化から始まった。脳梗塞を経て生まれた哲学「Life is Taketombo (人生は竹とんぼ)」。

その理想のバランスと価値観をもとに、平和で調和ある未来を紡ぐ想いを語る。

脳梗塞がくれた再出発のきっかけ

46歳のある日、私は突然の脳梗塞に倒れた。命の危機を目の前にした経験は、人生観を根底から揺さぶった。「生かされた命を、これから何に使うのか」その問いに何度も向き合った。病床で考えたのは、人生の豊かさとは何か、人は何のために生きるのかという根源的な問いだった。たどり着いた答えは、「仕事の時間」「家族との時間」そして「自分だけの時間」の3つを調和させることだった。この考えを私は「Life is Taketombo (人生は竹とんぼ)」と名付けた。竹とんぼが3本の羽のバランスを保つことで空に舞い上がるように、人生もまたバランスを整えたときに高く飛ぶことができる。さらに、その飛行時間が短いように、人生は決して長くはない。だからこそ、今という時間を大切にしなければならない。この気付きは、私の生き方を大きく変えた。



Life is Taketomboの概念図

高山知朗さんの言葉と、スロベニアXLAB^{※1}との出会い

高山知朗さんは、ソフトウェア業界で挑戦を続け、海外製ソフトウェア輸入事業オーシャンブリッジを創業した起業家である。私が在籍していた会社がオーシャンブリッジのM&Aを行うことになり、私はその事業を引き継ぐかたちで代表の役割を担うこととなった。高山さんとの出会いは、ビジネス観だけでなく、人との向き合い方に新たな視点をもたらした。特に忘れられないのは、彼のこの言葉だ。「協業する相手の社長と話したとき、この人と“仕事を越えた喜び”を分かち合えるか、価値観を共有できるか。それが、付き合う相手を決めるうえで最も大切です。」この言葉は、単なるビジネス論を超え、私の生き方そのものの指針となった。その高山さんが発掘し、協業していたのがスロベニア（首都リュブリャナ）の学生ベンチャーXLABである。彼らが開発したリモートコントロールツールは、日本国内で2500社以上に導入され、日本生命のリモート営業でも活用されるまでに成長している。スロベニアの優れた技術力と、日本企業との信頼がこの成果を支えた。



高山知朗さん^{※2}（右）とオーシャンブリッジ^{※3}にて



スロベニア・リュブリャナにてXLAB Jure Pompe Co-founder & MD (右)

中東欧の魅力と日本DXの親和性

XLABとの出会いを起点に、私はチェコ、ハンガリー、ルーマニアなど中東欧の企業と交流を深めてきた。彼らは、数学的素養に裏打ちされた確かなICT技術力を持ち、欧米大手との協業を通じて実践的な経験を積んでいる。その上で、スピード感ある意思決定と高品質な成果物の提供を同時に実現できる点が際立っている。さらに、コスト競争力も高く、グローバルに通用するソリューションを合理的な価格で提供できる。

こうした特性は、日本が直面している「2025年の崖」——老朽化したシステムの刷新、サイバーセキュリティ対応、生成AIを含む先端技術導入の加速——に対して、非常に高い親和性をもっている。日本企業にとって、中東欧のパートナーは単なる下請け先ではなく、ともに未来を描き、価値を共創する存在になり得るのだ。

その中でも大きなポテンシャルを示しているのが、チェコ共和国のWultra（ウルトラ）社^{注4}である。

Wultra：ポスト量子認証のリーダー

Wultraは、銀行やフィンテック企業向けに先進的な認証プラットフォームを提供する企業である。その最大の特徴は、量子コンピューターが従来の暗号を解読可能にすると予測される「Q-Day（量子破壊の日）」に備え、ポスト量子認証技術の革新を先駆けて展開している点にある。

主な機能は以下の通りである。

- ・モバイルファースト認証：PIN、生体認証（Face ID／Touch ID）、ワンタップ認証により、利便性とセキュリティを両立。
- ・ポスト量子暗号（PQC）：従来の楕円曲線暗号（ECC）と、NIST承認済みの最新暗号標準（ML-

KEM、ML-DSA）を組み合わせ、現在および将来の脅威に対応。

- ・取引署名：「What You See Is What You Sign」の原則に基づき、送金先や金額を動的にリンクし、改ざんを防止。
- ・アプリ実行時保護（RASP）：マルウェアや不正アプリを検知・遮断。
- ・eKYC（デジタル本人確認）：顔認証＋生体検知による安全な顧客オンボーディングを実現。

実績と日本市場への示唆

Wultraはすでに欧州の大手銀行で導入され、2000万人以上の利用者を保護。ユーザー満足度は平均4.7／5という高評価を得ている。さらに2025年には、Gartnerの「Hype Cycle for Digital Banking Transformation 2025」において、ポスト量子認証分野のサンプルベンダーとして認定された。この分野は、金融サービスにおける今後の重要領域として注目されている。

日本においても、量子脅威やディープフェイクなどAI起因の新たな不正に備えることは、金融機関・規制当局双方にとって喫緊の課題である。Wultraのソリューションは、金融DXの未来を切り拓くうえで、まさにタイムリーかつ重要な示唆を与えるものである。



EU Business Hub：日本と欧州をつなぐ公式プラットフォーム

こうした中東欧を含む欧州のスタートアップを体系的に日本へ紹介する取り組みが、欧州連合（EU）が主導する公式プロジェクト「EU Business Hub^{注5}」である。

2025年9月、東京・幕張で開催された「Smart Energy Week Autumn 2025」には、欧州から50社以上のグリーンエネルギー関連企業が来日し、再生可能エネルギーや蓄電池、AIを活用したエネルギーマネジメント分野で、日本企業と活発な商談を行った。

さらに、2025年12月には「Semicon Japan 2025^{注6}」が予定されており、欧州の半導体関連企業が多数参加する。材料から製造装置、AI設計ソリューションに至るまで、日本と欧州の協業が議論されることになる。

経済安全保障の観点からも、両地域の半導体分野での連携は極めて重要であり、そこから新しいイノベーションが生まれることが期待されている。

私はこのEU Business Hubの現場に立ち会い、スタートアップと日本企業の橋渡し役を担っている。中東欧を含む欧州企業に共通する「誠実さ」と「共に成長する姿勢」は、日本企業にとって真のパートナーシップを築くための重要な要素である。EU Business Hubには、まさに「ダイヤモンドの原石」ともいえる企業が数多く来日しており、日本企業にとっても見逃せない出会いの場となっている。そこにはスタートアップに限らず、欧州の中堅企業や研究機関も参加しており、幅広い協業の可能性が秘められている。



teamTaketomboとLife is Taketombo

私は日本と中東欧をつなぐ「架け橋」になるという想いをかたちにするためにteamTaketomboを立ち上げた。それは、日本と中東欧をつなぎ、信頼関係から新しい価値を生むための挑戦だ。teamTaketomboの根幹にあるのがLife is Taketomboという哲学である。前述のとおり、竹とんぼが3枚の羽で空に舞うように、人生も「仕事」「家族」「自分の時間」の3つの翼のバランスを取ることで、人生はより高く飛べ、その軸となるのは健康であり、これを失えばいかなるバランスも保てない。脳梗塞の経験を経て、私は健康こそが人生の中心軸であると痛感した。ただし、このバランスは簡単に取れるものではない。人生のフェーズによっては偏りが生じ、理想通りにいかないこともある。それでも、理想を意識し続けければ自然と調和に近づいていく。誰もがこの理想を追い求める権利をもち、互いの権利を尊重できる社会であってほしいと願っている。竹とんぼの飛行時間が短いように、人生は短い。だからこそ、限られた時間の中で誰と出会い、何を共に成し遂げるかが、私たちの生き方を決める。

未来へのビジョン

戦後の価値観が揺らぎ、AIの登場によって世界は急速に変化している。新しい技術が可能性を広げる一方で、過去の愚かさ“とりわけ戦争という悲劇”を繰り返

返してはならない。中東欧の誠実さと平和を希求する精神は、日本の価値観とも深く響き合う。私は、この協力関係が次世代に平和と繁栄を継承するための架け橋になると信じている。そして、振り返れば、私は父が日本とフィリピンの架け橋となるために生きた使命を、無意識のうちに受け継いでいたことに気付いた^{注7}。今、私はその想いを胸に、日本と中東欧の架け橋となる道を歩いている。この協力関係が、次世代に向けた新しい世界秩序の形成に寄与することを強く信じている。

注1：XLAB 公式サイト

<https://xlab.si/>

注2：「オーシャンブリッジ高山のブログ」

<https://www.oceanbridge.jp/taka/>

注3：オーシャンブリッジ公式サイト

<https://www.oceanbridge.jp/>

注4：Wultra s.r.o.公式サイト

<https://www.wultra.com/>

注5：EU Business 広報サイト

<https://japan.eubusinesshub.eu/ja>

注6：Semicon Japan 2025詳細

<https://japan.eubusinesshub.eu/ja/missions-catalogue/eu-business-hub-semicon-japan-2025>

注7：参考文献『BC級戦犯にされたキリスト者中田善秋と宣撫工作』小塩海平著（いのちのことは社）



お問い合わせ

JOI 事業企画部

E-mail: bd@joi.or.jp

株式会社チームタケトンボ

<https://www.team-taketombo.com/ja>

E-mail: nakada@team-taketombo.com

